

OTC研修会『より良いセルフメディケーションのために』

八戸薬剤師会 職能対策委員会 阿達 昌亮

一般用医薬品等の研修会(OTC研修会)が、『より良いセルフメディケーションのために』(医薬品や健康食品等の安全かつ適正な使用を目指して)と題して 10月26日(木)、11月29日(水)の2日間、八戸市福祉公民館で開催されました。今回は初めての試みとして登録販売者と薬剤師の合同研修会として医薬品卸のバイタルネット株式会社との共催での開催となり、保険薬局薬剤師や病院薬剤師を含む八戸市近郊の薬剤師約60名、登録販売者約15名の参加を得て、無事盛会のうち終了することができました。準備段階からご協力頂きました関係各位の皆さまに心よりお礼申し上げます。

本研修会は、かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能を有し、加えて地域住民の健康意識を高め健康寿命の延伸に貢献していく「健康サポート薬局」として活動できるよう、必要な一般用医薬品や介護用品・健康関連商品等の取り扱いを支援する目的で開催されました。患者様とどのようにコミュニケーションをとっていくのか?どのような情報と商品ラインナップを持つべきなのかをご自身の薬局に合うよう検討しアレンジしていく良い機会になったと思います。一方で初めての開催であったため、今後の研修を継続的に実施していくための反省点も多く、満足のいく研修とならなかった方々には申し訳ない結果となりました。

1回目は医薬品医療機器等法改正後の法規制や要指導医薬品・第1類医薬品の販売方法の注意点、ロキソニンブランドの市場規模や医療用とOTCの比較など再認識させられることが多い研修となりました。薬剤師のみが販売することが許された上記医薬品を適正に供給していくことは薬剤師本来の業務の一つであると思います。



2回目は健康サポート機能における要指導医薬品や介護用品の備蓄と、減塩指導・フレイル対策等の健康相談の提案例といった実用的な内容でした。また健康食品や減塩調味料など健康サポートに活用できる商品の展示もあり、日頃触れることの少ない貴重な情報も得ることができたと思います。近隣住民の身近な相談相手として、医薬品以外の健康維持増進に関わる情報提供も担うことは新たな薬剤師の職能となっていくと思います。



一般用医薬品について系統的に学ぶ機会は少なく、これまでは自分なりの経験・知識と新商品の発売によるプロモーション等から得られる情報を自分で整理する勉強方法が一般的であったように思います。忙しい日常業務の傍ら健康サポートに必要なかつ適切な知識を得ていくためには、系統的に自己研鑽を積む研修の継続的な実施は大変重要であると考えます。今回の研修をきっかけに、ご自身の薬局での健康サポートへの取り組みを検討していただき、新しい時代の地域医療への貢献に役立てていただければ幸いです。